

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [追手門学院大手前中高等学校] 担当教諭名 [吉田 恵実子] (英語部中1-高2 12名)

相手国・地域 [パキスタン]

海外学校名 [Mansehra Public School & College] 担当教諭名 [Muhammad Umar Gul Khan]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科 英語部	単元名 English Cafe	時間数 30
-------------------------	-----------	---------------------	-----------

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	共生
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	異なる文化を持った国同士でも、共有できるものがあるということ。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
全く異なる国同士にも共有、共感できる点があるということに生徒たちが気づいたこと。	壁画を完成させるまでのプロセスでもっと相手国に対する知識を深め、交流を盛んに行うべきであったと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
パキスタンに対する恐怖心が共感に変化した。	生徒に指示をして学習を進めるのではなく、生徒自身は自主的に学習、国際交流を行なっていけるのだということに気づいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	フォーラムを通して自己紹介を行った。	相手国に圧倒されて萎縮していた。	英語部
共有 テーマ学習	9月	Skype を通して、学校生活や国の文化、気候について共有した。	全く異なる国だと思っていた国との共通点を見つけ、共感を抱いたようだった。	英語部
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月	Skype を通して、壁画のメッセージやデッサンを考えた。	共生というテーマに基づいて、円を描きたいというアイデアが生徒たちから生まれた。	英語部
創造 壁画制作	11月 12月	週に3～4回程度集まり、壁画のデザインを細かく決め、完成に向けて取り組んだ。	細かいデザインを決めていく中で、パキスタンに対する理解と共感をさらに深めていったようだった。	英語部
評価 振り返り 自己評価	2月	パキスタンから壁画と贈り物を受け取り、感想を考えた。	壁画の素晴らしさと贈り物に感激し、来年度はもっといろいろな交流がしてみたいと感じたようだった。	英語部

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてつみた 4: ついた 3: どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	Skype での日本文化のプレゼンを考えている時。
異文化を理解する力	4	Skype で相手国の生徒の話を聞いている時。また、その後の話し合いや調べ活動の時。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	壁画のデッサンを考えている時。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	Skype において、英語で何かを話そう、何かを質問しよう、相手の発言を理解しようと必死になっている時。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	あまり意識していなかったように思う。
主体的に考え行動する力	4	壁画のデッサンを考えている時。 相手国へのメッセージを考えている時。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	壁画を作成している時。 壁画のデッサンを相手国と話し合っている時。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	相手国へのメッセージを考えている時。 壁画のデッサンを考えている時。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	パキスタンからの贈り物と壁画を受け取った時、個々が相手国に英語でメッセージを考えていた時。